



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月28日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ  
コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖栗 道郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三島 康人

TEL 025-224-7111

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	48,619	18.2	13,350	25.3	10,875	32.4
2023年3月期第1四半期	41,102	17.3	10,654	65.2	8,211	88.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 27,636百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △14,996百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	242.04	—
2023年3月期第1四半期	180.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,756,065	440,403	4.0
2023年3月期	10,517,951	415,423	3.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 440,386百万円 2023年3月期 415,423百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2024年3月期(予想)の第2四半期末配当金の内訳 普通配当65円00銭、記念配当5円00銭

(注3) 2024年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当65円00銭、記念配当5円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	12,600	△27.5	10,000	△19.1	222.47
通期	27,500	9.7	20,100	13.1	447.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	45,942,978 株	2023年3月期	45,942,978 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	993,988 株	2023年3月期	1,010,483 株
------------	-----------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	44,933,181 株	2023年3月期1Q	45,403,517 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)経営成績に関する説明	P. 2
(2)財政状態に関する説明	P. 2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1)四半期連結貸借対照表	P. 3
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(企業結合等関係)	P. 7

※2024年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1)【経営成績に関する説明】

当第1四半期連結累計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、株式等売却益の増加等により前年同期比 75 億 17 百万円増加し、486 億 19 百万円となりました。

経常費用は、外貨調達コストの増加等により、前年同期比 48 億 20 百万円増加し、352 億 68 百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比 26 億 96 百万円増加し、133 億 50 百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 26 億 64 百万円増加し、108 億 75 百万円となりました。

(2)【財政状態に関する説明】

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 2,381 億円増加し、10 兆 7,560 億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 249 億円増加し、4,404 億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比 838 億円増加し、8 兆 4,513 億円となりました。譲渡性預金は前連結会計年度末比 366 億円減少し、1,766 億円となりました。

貸出金は前連結会計年度末比 6 億円減少し、5 兆 2,653 億円となりました。

有価証券は前連結会計年度末比 922 億円減少し、2 兆 7,791 億円となりました。

(3)【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期予想値を上回っており、通期予想値に対する進捗率は約 54%となっておりますが、商品価格の高騰等を背景とした世界的なインフレ率の高止まりや、インフレ抑制に向けた欧米での金融引き締めの影響など、取り巻く経営環境の変化や動向を見極める必要があることから、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,031,509	2,375,203
買入金銭債権	15,609	12,807
商品有価証券	2,558	2,561
有価証券	2,871,378	2,779,112
貸出金	5,265,963	5,265,310
外国為替	19,566	20,697
その他資産	213,929	208,625
有形固定資産	56,018	57,245
無形固定資産	11,428	10,787
退職給付に係る資産	16,521	16,962
繰延税金資産	21,778	13,715
支払承諾見返	20,738	21,443
貸倒引当金	△29,048	△28,407
資産の部合計	10,517,951	10,756,065
<b>負債の部</b>		
預金	8,367,554	8,451,354
譲渡性預金	213,228	176,609
売現先勘定	175,576	154,237
債券貸借取引受入担保金	308,046	363,968
借入金	902,795	1,019,807
外国為替	463	397
信託勘定借	8,386	9,586
その他負債	91,348	105,461
賞与引当金	2,354	183
役員賞与引当金	107	—
株式報酬引当金	697	737
退職給付に係る負債	625	1,049
役員退職慰労引当金	37	40
睡眠預金払戻損失引当金	1,189	1,092
偶発損失引当金	1,910	1,781
特別法上の引当金	16	15
繰延税金負債	2,541	2,990
再評価に係る繰延税金負債	4,907	4,907
支払承諾	20,738	21,443
負債の部合計	10,102,527	10,315,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	102,980	102,980
利益剰余金	293,973	302,129
自己株式	△3,066	△3,021
株主資本合計	423,887	432,088
その他有価証券評価差額金	△19,886	△15,810
繰延ヘッジ損益	288	13,065
土地再評価差額金	5,724	5,724
退職給付に係る調整累計額	5,409	5,317
その他の包括利益累計額合計	△8,463	8,297
非支配株主持分	—	17
純資産の部合計	415,423	440,403
負債及び純資産の部合計	10,517,951	10,756,065

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	41,102	48,619
資金運用収益	21,341	24,215
(うち貸出金利息)	11,526	12,182
(うち有価証券利息配当金)	9,468	9,755
信託報酬	34	28
役務取引等収益	6,792	8,180
その他業務収益	10,776	11,185
その他経常収益	2,157	5,010
経常費用	30,448	35,268
資金調達費用	1,040	7,792
(うち預金利息)	120	137
役務取引等費用	2,132	2,719
その他業務費用	7,836	6,249
営業経費	15,710	16,129
その他経常費用	3,727	2,377
経常利益	10,654	13,350
特別利益	939	1,512
固定資産処分益	939	58
段階取得に係る差益	—	109
負ののれん発生益	—	1,343
金融商品取引責任準備金取崩額	—	1
特別損失	89	90
固定資産処分損	13	36
減損損失	75	53
税金等調整前四半期純利益	11,504	14,773
法人税、住民税及び事業税	2,479	2,548
法人税等調整額	752	1,349
法人税等合計	3,231	3,897
四半期純利益	8,273	10,875
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	61	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,211	10,875

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,273	10,875
その他の包括利益	△23,269	16,761
その他有価証券評価差額金	△25,194	4,075
繰延ヘッジ損益	2,031	12,777
退職給付に係る調整額	△106	△91
四半期包括利益	△14,996	27,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,078	27,637
非支配株主に係る四半期包括利益	82	△0



(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

<株式会社エヌ・シー・エス及び株式会社ブリッジこいがたの子会社化>

当社は、2022年12月9日の当社取締役会決議に基づき、2023年4月3日に株式会社エヌ・シー・エス及び株式会社ブリッジこいがたの株式を取得し、当社の連結子会社としております。その概要は以下のとおりであります。

1. 企業結合の概要

(1)被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	事業の内容
株式会社エヌ・シー・エス	コンピューター関連業務
株式会社ブリッジこいがた	地域商社事業

(2)企業結合を行った主な理由

システム事業を再編することで、グループガバナンスの強化を図るとともに、グループ総合力を発揮し、地域経済への一層の貢献と当社連結利益の最大化を実現することを目的とするものです。

(3)企業結合日

2023年4月3日

(4)企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得及び連結子会社からの現物配当

(5)結合後企業の名称

結合前当事企業の名称	結合後当事企業の名称
株式会社エヌ・シー・エス	株式会社第四北越ITソリューションズ

株式会社ブリッジこいがたの名称に変更はありません。

(6)取得した議決権比率

結合前当事企業の名称	企業結合直前に保有していた議決権比率	企業結合日に取得した議決権比率	取得後の議決権比率
株式会社エヌ・シー・エス	14.9%	85.0%	100.0%
株式会社ブリッジこいがた	14.3%	71.4%	85.7%

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

企業結合に関する会計基準上の取得決定要素に基づいております。

2. 取得原価の算定等に関する事項

(1)被取得企業の取得原価

企業結合直前に保有していた普通株式の企業結合日における時価	235百万円
追加取得した普通株式の時価	737百万円
取得原価	973百万円

(2)被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益	109百万円
-----------	--------

3. 取得原価の配分に関する事項

(1)企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,179百万円
固定資産	1,559百万円
資産合計	3,738百万円

流動負債	939百万円
固定負債	464百万円
負債合計	1,404百万円

(2)発生した負ののれんの金額及び発生原因

①発生した負ののれんの金額 1,343百万円

②発生原因

企業結合時の時価純資産が被取得企業の取得原価を上回ったため

2024年3月期 第1四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	4

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
2. 前年同期比、2022年6月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。  
3. 自己資本比率につきましては現在算出中につき確定次第、開示致します。

## 1. 損益の状況

### (1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益…役員取引等利益が7億円、その他業務利益が19億円それぞれ増益となったものの、資金利益が38億円減益となったことにより、前年同期比10億円減益の268億円となりました。

○経常利益…連結粗利益の減益に加え、営業経費が4億円増加したものの、株式等関係損益が37億円増加したことや、貸倒償却引当費用が5億円減少したこと等により、前年同期比26億円増益の133億円となりました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益…組織再編に伴い特別損益が5億円増加し、法人税等税金関係費用が6億円増加したことから、前年同期比26億円増益の108億円となりました。

(単位:百万円)

		2024年3月期		2023年3月期	(参考) 2023年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
連結粗利益	1	26,847	△1,088	27,935	91,239
資金利益	2	16,422	△3,878	20,300	67,919
役員取引等利益	3	5,489	794	4,695	22,821
その他業務利益	4	4,936	1,997	2,939	498
営業経費 (△)	5	16,129	419	15,710	62,556
貸倒償却引当費用 (△)	6	1,425	△584	2,009	5,395
貸出金償却 (△)	7	949	684	265	2,131
個別貸倒引当金繰入額 (△)	8	540	△1,123	1,663	3,513
一般貸倒引当金繰入額 (△)	9	△319	△298	△21	△820
延滞債権等売却損 (△)	10	—	—	—	24
その他 (△)	11	255	153	102	546
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	136	△83	219	482
株式等関係損益	14	3,375	3,731	△356	534
その他	15	545	△31	576	744
経常利益	【126億円】 16	13,350	2,696	10,654	25,048
特別損益	17	1,422	572	850	△98
税金等調整前四半期(当期)純利益	18	14,773	3,269	11,504	24,949
法人税、住民税及び事業税 (△)	19	2,548	69	2,479	6,699
法人税等調整額 (△)	20	1,349	597	752	366
四半期(当期)純利益	21	10,875	2,602	8,273	17,883
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失 (△)	22	△0	△61	61	115
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【100億円】	23	10,875	2,664	8,211	17,768

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役員取引等収益 + 信託報酬 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2024年3月期第2四半期予想値

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	24	11,002	△1,155	12,157	29,217
--------	----	--------	--------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

○コア業務粗利益は、前年同期比47億円減益の214億円となりました。

- ・資金利益は、貸出金平残が増加し、貸出金利回りも上昇したことから貸出金利息が増加したほか、利回り上昇等により有価証券利息配当金が増加しましたが、市場金利の上昇による外貨調達コストの増加を主因に資金利益全体では前年同期比32億円減益の163億円となりました。
- ・役務取引等利益は、保険窓口販売などによる資産運用アドバイス収益の増加を主因に前年同期比1億円増益の31億円となりました。
- ・その他業務利益（除く国債等債券損益）は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引の減少などを主因に前年同期比17億円減益の19億円となりました。

○コア業務純益は、コア業務粗利益の減益に加え、経費が物件費を中心に3億円増加したことなどから前年同期比51億円減益の66億円となりました。

○経常利益は、ネット信用コストが3億円減少したことに加え、国債等債券損益が43億円、株式等関係損益が35億円それぞれ増加した結果、前年同期比29億円増益の118億円となりました。

○四半期純利益は、前年同期比17億円増益の84億円となりました。

(単位:百万円)

		2024年3月期		2023年3月期	(参考) 2023年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
業務粗利益	1	23,864	△473	24,337	80,227
(コア業務粗利益)	2	(21,481)	(△4,773)	(26,254)	(91,789)
資金利益	3	16,309	△3,218	19,527	67,311
うち投資信託解約損益	4	—	△3,369	3,369	4,749
役務取引等利益	5	3,187	180	3,007	15,427
その他業務利益	6	4,367	2,566	1,801	△2,511
うち国債等債券損益	7	2,383	4,300	△1,917	△11,561
経費（除く臨時処理分）(△)	8	14,786	335	14,451	57,503
うち人件費(△)	9	7,384	△265	7,649	30,340
うち物件費(△)	10	6,273	391	5,882	23,769
実質業務純益	11	9,077	△808	9,885	22,724
(コア業務純益) 【105億円】	12	(6,694)	(△5,108)	(11,802)	(34,285)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(6,694)	(△1,738)	(8,432)	(29,536)
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	—	40	△40	△1,002
業務純益	15	9,077	△849	9,926	23,726
臨時損益	16	2,794	3,786	△992	△1,157
うち不良債権処理額(△)②	17	1,204	△251	1,455	5,587
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	18	(1,204)	(△211)	(1,415)	(4,585)
うち貸倒引当金戻入益	19	101	101	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	20	130	130	—	—
うち償却債権取立益	21	135	△83	218	472
うち株式等関係損益	22	3,227	3,572	△345	3,130
経常利益 【102億円】	23	11,872	2,939	8,933	22,568
特別損益	24	△31	△191	160	△2,088
うち固定資産処分損益	25	22	△903	925	652
うち減損損失(△)	26	53	△712	765	2,741
税引前四半期(当期)純利益	27	11,841	2,748	9,093	20,480
法人税、住民税及び事業税(△)	28	2,097	22	2,075	5,108
法人税等調整額(△)	29	1,338	933	405	524
四半期(当期)純利益 【71億円】	30	8,405	1,794	6,611	14,847

(参考)

ネット信用コスト(△) 14+17-19-20-21	31	837	△359	1,196	4,112
----------------------------	----	-----	------	-------	-------

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益  
 2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 4. 【 】は2024年3月期第2四半期予想値

2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

第四北越銀行 単体

○不良債権額は前年同期比22億円増加し、1,226億円となりました。一方、不良債権比率は、貸出金残高の増加により、0.01ポイント低下の2.25%となりました。  
 ○破産更生債権及びこれらに準ずる債権は9億円、危険債権は9億円、要管理債権は3億円それぞれ増加しました。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末		2022年6月末	2023年3月末
	2022年6月末比	2022年6月末	2022年6月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	60	9	51	63
危険債権	1,119	9	1,110	1,150
要管理債権	45	3	42	47
三月以上延滞債権額	7	△12	19	8
貸出条件緩和債権額	37	15	22	38
小計 (A)	1,226	22	1,204	1,261
正常債権	53,057	1,116	51,941	53,053
債権額合計 (B)	54,283	1,138	53,145	54,314
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.25%	△0.01%	2.26%	2.32%

3. 有価証券の状況

○欧米の金融引き締めに伴う世界的な金利上昇を背景とした債券価格の下落などから、第四北越フィナンシャルグループ連結の有価証券の評価差額は231億円の含み損、第四北越銀行単体の有価証券の評価差額は191億円の含み損となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末				2022年6月末				2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	456	5	6	0	16	△0	—	0	328	3	3	0
その他有価証券	27,238	△237	744	982	24,328	△247	456	703	28,288	△296	603	899
株式	1,583	609	624	14	1,260	347	380	33	1,495	454	480	25
債券	14,413	△187	21	208	14,875	△190	13	204	15,717	△201	46	247
その他	11,241	△659	99	758	8,192	△404	61	466	11,074	△549	76	626
うち外国証券	6,810	△521	1	523	4,385	△299	2	301	6,594	△327	34	361

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末				2022年6月末				2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	456	5	6	0	16	△0	—	0	328	3	3	0
その他有価証券	27,087	△197	775	973	24,221	△176	518	694	28,151	△240	647	887
株式	1,433	636	643	6	1,153	399	424	25	1,359	496	514	17
債券	14,413	△172	28	201	14,875	△170	27	198	15,717	△185	52	237
その他	11,240	△660	103	764	8,192	△405	65	471	11,074	△551	80	632
うち外国証券	6,810	△520	2	523	4,340	△298	2	301	6,594	△326	34	361

※時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は次のとおりです。  
 (単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末	2022年6月末	2023年3月末
	評価損益		評価損益
金利スワップ	184	35	27

#### 4. 預金等、貸出金残高

##### 第四北越銀行 単体

- 貸出金残高は、前年同期比1, 272億円増加し、5兆2, 886億円となりました。
- ・県内事業性貸出が新型コロナウイルス関連融資の返済本格化や、資材価格の高騰等を受けた設備投資の先送りなどを主因に減少したものの、県外事業性貸出が増加したことから事業性貸出全体では前年同期比1, 476億円増加しました。
  - ・消費性貸出は商品・サービスの拡充や非対面チャネルの強化によるお客さまの利便性向上に積極的に取り組んだ結果、前年同期比561億円増加しました。
- 譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比1, 018億円増加し、8兆6, 666億円となりました。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末		2022年6月末	2023年3月末
		2022年6月末比		
貸出金残高	52,886	1,272	51,614	52,881
県内事業性貸出残高	16,909	△285	17,194	17,435
うち中小企業向け貸出残高	14,023	△323	14,346	14,486
県外事業性貸出残高	12,839	1,761	11,078	12,473
うち中小企業向け貸出残高	5,346	591	4,755	5,249
消費性貸出残高	14,526	561	13,965	14,428
公金貸出残高	8,610	△766	9,376	8,543
預金等残高	86,666	1,018	85,648	86,161
うち県内預金等残高	84,805	984	83,821	84,344
うち個人預金等残高	57,146	919	56,227	56,317

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金

#### 5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

##### 第四北越銀行 単体

- 預かり資産残高は前年同期比468億円増加し、9,045億円となりました。
- 公共債が61億円減少したものの、投資信託が97億円、保険が432億円それぞれ増加しました。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2023年6月末		2022年6月末	2023年3月末
		2022年6月末比		
預かり資産残高	9,045	468	8,577	8,624
投資信託	1,849	97	1,752	1,757
公共債	705	△61	766	716
保険	6,490	432	6,058	6,150
(参考) 第四北越証券	4,448	540	3,908	4,250

以上